



# おかやま 国際交流



Okayama Prefectural International Exchange Foundation



## 日本文化授業（日本語講座）

岡山日本語教師ネットワーク（ONN）は、1995年に設立されたボランティア団体で、31年にわたり活動が続けています。岡山県国際交流協会の設立とともに発足した団体であり、同協会と歩みをともしながら活動を行ってきました。

岡山県国際交流協会からの委託を受け、毎週火曜日（18:30~20:10）と木曜日（10:00~11:40）の日本語講座を担当しています。講師メンバーは全員、日本語教師の資格を持ち、学習者に寄り添った学びを大切にしています。

また、毎年12月には文化授業を開催し、日本語の学習だけでなく日本の文化にも触れられる機会を提供しています。

## 木曜日クラス

木曜日クラスの文化授業は、令和7年12月18日(木)に実施しました。会場は岡山国際交流センター6階の普段から学習に使用している一番広い語学室です。普段のクラスはレベル別に行っていますが、この日は初級から中級までの学習者一同が参加しました。

文化授業のプログラムは毎年講師が企画しており、内容も変わります。今年は「お正月の歌」から始まり、昔ながらの遊びの紹介のあと、伴奏に合わせて全員で歌いました。歌の意味が分かるにつれて声も大きくなり、会場には一体感が生まれました。

続いて「ひらがなビンゴ」を行いました。25マスに自分でひらがなを書き込んだ用紙を使い、カードを引きながらゲームを進めました。リーチやビンゴが出るたびに歓声が上がリ、景品を受け取る場面では多くの笑顔が見られました。

最後に記念写真を撮影し、その後は茶話会を行いました。お茶とお菓子を囲みながら自己紹介や雑談を交わし、学習者と講師もお互いを知る時間となりました。

「日本語を学ぶ仲間」として温かい交流が生まれました。



ひらがなビンゴの「ひらがな」考え中



ビンゴの景品に笑顔の学習者



全員で記念写真



たこ焼き作りは初体験



お互いのたこ焼きを試食中



たこ焼きポーズで記念写真

## 火曜日夜クラス

火曜日クラスの文化授業は、令和7年12月16日(火)に実施しました。

この日は文化授業として、3年ぶりとなるたこ焼きパーティーを開催しました。学習者は6か国10名が参加し、文化授業の参加が初めてという学習者も半数以上いました。

まず材料の名前を確認し、作り方の説明を聞いた後、4テーブルに分かれて具材を切るところからスタートしました。たこ焼き作りは初体験という人が多く、最初は竹串を使ってひっくり返すことに苦戦していましたが、次第に慣れ、上手に回せるようになりました。2回目に作ったたこ焼きは丸く大きく焼き上がり、うれしそうな声や笑顔が会場にあふれました。

また、自分のテーブルだけでなく、他のテーブルで焼いたたこ焼きも互いに食べながら、普段はクラスが違う学習者とも交流し、ワイワイと楽しい雰囲気の2時間となりました。

1か月間、授業が休みになると聞き、寂しそうな学習者もいましたが、最後には元気よく「よいお年を!」とあいさつを交わし、最後の授業を締めくくりました。

# 令和8年度 一般財団法人岡山県国際交流協会

## 年間行事予定表

### 月別事業

| 予定月   | 事業名                              | 開催予定日                  |
|-------|----------------------------------|------------------------|
| 6月    | やさしい日本語研修会（オンライン）                | 6月27日（土）               |
| 7月～9月 | 日本語学習サポーター初期研修（5回開催）             | 7月～9月予定                |
| 8月    | おかやまSDG's2026フェア出展               | 8月5日（水）<br>～8月6日（木）    |
|       | 親子で遊ぼう - Family Friendly Event - | 8月23日（日）               |
|       | 子ども日本語学習サポーター研修会                 | 8月30日（日）               |
| 9月    | 英語で話そう                           | 9月12日（土）               |
|       | 日本語ボランティアスキルアップ研修会（オンライン）        | 9月26日（土）               |
| 10月   | 国際貢献NGOフェア                       | 10月1日（木）<br>～10月30日（金） |
|       | 国際貢献・協力セミナー                      | 10月4日（日）               |
|       | ワールド・エクササイズ                      | 10月17日（土）              |
|       | オンライン日本語講座                       | 10月開始予定                |
| 11月   | 海外マガジンリサイクル                      | 11月7日（土）<br>～11月14日（土） |
| 12月   | 日本文化体験・交流会                       | 12月予定                  |
|       | 留学生と県民との交流会                      | 12月予定                  |

### 今年度行うその他の事業

| 予定月 | 事業名                    | 開催予定日 |
|-----|------------------------|-------|
| 毎月  | ～英会話カフェ English Cafe～  | 毎月    |
| 未定  | ボランティア交流会              | 未定    |
|     | 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会 | 未定    |
|     | 災害救援専門ボランティア（通訳・翻訳）研修会 | 未定    |
|     | 地域共生サポーター養成講座・研修会      | 未定    |

※行事予定は変更となる場合があります。ご了承ください。

\*都合により、日程等は変更する場合があります。最新情報は、下の二次元コードを読み取り、当協会のウェブサイトをご覧ください。

ホームページ



Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



## 「地域共生サポーター※養成講座・研修会」

令和8年2月7日(土)

講師:徳島大学 名誉教授／流通科学大学 特任教授 <sup>ゲールツ</sup> Gehrtz 三隅 友子氏  
事例発表:OPIEF多言語相談員／日本語教師 福田 岳史氏

講師の三隅氏は長く日本語教育を専門とされ、現在は新たに大学院で社会教育学の研究活動をされており、多文化共生社会の実現には言語習得だけでなく、これからの日本を支える人材の育成・教育が大切と話されます。



ワークショップで発表

今回は「人が『ここにいていい』と思える多文化共生社会を創る」をテーマに、地域で共に生活する者同士が顔と顔を合わせたおつきあいをする事、そしてそこから何が生まれるのかを、講義とワークショップを通して参加者と一緒に考えました。その中で三隅氏は、近年の外国人居住者の急激な増加に対してややもするとマイナスの感情に走りがちな社会風潮を話題にされ、外国人居住者に対する日本人側の情報リテラシーの大切さ(一元的な情報で判断しないこと)を、様々なデータをもとに説明されました。

また事例発表では、幼少期に8年間ブラジルで過ごした福田氏が、言語習得の難しさや異文化共生社会を経験したご自身だからこそ伝えられるものがあるのではという視点から、日本語学習者をどうサポートするか、いろいろな具体例を提示してくれました。

※「地域共生サポーター」とは、地域で共に生活する外国人住民の生活面の支援を行うボランティアです。地域でのコミュニケーションや、ルール・マナーの伝達等の社会活動を支える活動をしします。登録は岡山県の所管となります。



三隅氏



福田氏



わたしたち、「共生してま〜す!」

## ボランティア交流会

令和8年2月11日(水・祝)

講師:スカム・アパサラー氏、ラ・ヴァン・トゥック氏  
(いずれも外国紹介ボランティア、協会サポーター、通訳・翻訳ボランティア)



木村業務執行理事・事務局長  
による開会の挨拶

ボランティア登録者による活動経験の共有や交流を通じて、ボランティア同士のつながりを深めるとともに、新たな気づきを得る機会として交流会を開催しました。

木村業務執行理事・事務局長の挨拶により開会し、今年度、当協会のボランティアとして活躍したお二方が、活動報告とアクティビティを行いました。

はじめに、ベトナム出身のラ・ヴァン・トゥック氏が、活動報告やボランティアを始めたきっかけ、ベトナムの食文化等を紹介しました。そして、来日当初、言葉が分からずジェスチャーでコミュニケーションをとっていた経験にちなみ、皆で言葉を使わずに思いを伝えるジェスチャーゲームに挑戦しました。

続いて、タイ出身のスカム・アパサラー氏が、地域ごとに異なるタイの伝統的な踊りについて映像を交えて紹介し、タイ東北部の踊りを参加者全員で体験しました。指の動きなどに苦戦しながらも、音楽に合わせて楽しく体を動かし、会場は一体感に包まれました。

交流タイムでは、ボランティア活動の経験を共有し合うなど、参加者同士が和やかに交流を深める様子が見られました。



ボランティア活動の経験を語る  
ラ・ヴァン・トゥック氏



タイの伝統舞踊を指導する  
スカム・アパサラー氏

# 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会 災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修会 令和8年2月28日(土)

講師: 明星大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 准教授  
一般社団法人多文化社会専門職機構 理事・事務局長 菊池 哲佳氏

## 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会

行政窓口や学校等で外国人と日本人のコミュニケーションを通訳としてサポートする「多文化共生コミュニケーションサポーター」新規登録希望者と登録者、32名の参加者のもと「多文化共生コミュニケーションサポーターに求められる役割と心構え」と題した研修会を開催しました。

前半は、コミュニティ通訳にあたっての基礎的な事項や心構えについての講義を受けました。後半は各言語グループでロールプレイを通して通訳倫理を考えながら、通訳の演習に取り組みました。

通訳者の役割について初歩的な部分から実践的な知識や対応についての学びも深める機会となりました。

通訳者として一人で判断や決定を下さなければいけない瞬間が多い中、「自分以外の人の考えや意見に触れることが、今後の通訳者としての活動に良い影響がある。」などの声からあがりました。



真剣な意見交換



和やかな雰囲気でのロールプレイ



講師の菊池 哲佳氏

## 災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修会

共催: 岡山県、岡山市

災害時に外国人被災者への支援をスムーズに行うことを目的とした「災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修」を実施しました。対象は災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)登録者および通訳・翻訳の知識があり、外国人支援に関心がある方です。8か国を含む38名が参加しました。

前半は、災害時に外国人が取り残されやすい状況や、「やさしい日本語」が外国人だけではなく、日本人にとっても有効なコミュニケーションツールであることを学びました。「外国と災害」に関する興味深いクイズも出題され、グループごとに意見交換を行うことで、理解を深めました。また、東日本大震災で外国人被災者支援を実際に行った菊池氏から、ラジオを活用した情報提供の様子について、貴重な体験談も聞くことができました。

後半は言語別グループに分かれ、災害時の通訳に関する演習を行いました。「岡山県災害時多言語支援センターの開設に関する案内」を題材に、各グループで文章を翻訳し、その内容を模造紙にまとめました。



クイズの答えを話し合う様子



翻訳演習の様子

この研修を受講し、15名が新たに災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)に登録しました。

# World なんしよん Now?

おかやまじん たよ  
～岡山人からの便り～

今回は、南アフリカ共和国でJICA海外協力隊として活動している倉敷市出身の貝畑 健太さんから、現地での子どもの学校生活や子どもたちとの温かい交流についての寄稿をお届けします。



貝畑 健太氏



算数の授業の様子①



算数の授業の様子②

皆さん、こんにちは。私は現在、JICA海外協力隊として、南アフリカ共和国の小学校で主に算数の授業をサポートしています。南アフリカに着任したのは今年の1月。私の活動地は、同国の北東部に位置するリンポポ州のシロアム村という場所です。ボツワナ、ジンバブエ、そしてモザンビークとの国境やクルーガー国立公園が近くにあり、着任直後は日本とのあまりの違いに、慣れない生活への不安を抱くこともありましたが、温かい現地の人々に支えられ、今ではすっかり現地の生活に馴染み、毎日楽しく活動しています。

南アフリカの小学校の朝は非常に早く、午前7時20分には1時間目のチャイムが鳴り響き、活気ある一日がスタートします。驚くべきは、日本の小学校とは異なり、休み時間は午前中の10分間が一度と、11時から30分間の昼食時間の合計二度しかありません。こまめな休憩がないにもかかわらず、集中力を切らずに授業を受ける子どもたちや、情熱を持って教え続ける先生方の



クラスの子どもたち

パワフルな姿には、日々圧倒されるばかりです。また、10分の休み時間の間に子どもたちは思い思いにスナック菓子を食べてリフレッシュしています。一方で、



学校でおやつを買う子どもたち

にたっぷりそして有意義に使える点は、南アフリカのライフスタイルの素晴らしい魅力の一つだと感じています。

毎朝の登校も、私にとってかけがえのない時間です。家を出ると、近所に住む子どもたちが私のことを待っていて、一緒に学校へ向かいます。道中、彼らから現地語であるヴェンダ語を教わったり、反対に私から算数の問題を出し合ったりと、笑顔の絶えないコミュニケーションを楽しんでいます。時には、道端を歩く牛やヤギといった動物たちと一緒に学校まで歩くこともあり、自然と共生するこの地ならではの光景に心が躍ります。

着任してまだ間もないですが、これから人々との交流を深め、南アフリカでしか得られない経験を積み重ねていきたいと考えています。そして同時に、私の生まれ故郷である岡山県の魅力を現地の人たちに伝え、岡山県、そして日本と南アフリカの心の距離を縮める架け橋となれるよう、精一杯活動に取り組んでいきたいと考えています。



村の動物①



村の動物②

# 外国人エッセイ

## 私の何でも 自慢

ちえん しん  
**陳 欣さん**  
ちゅうごく じゅうけい し しゅうしん  
(中国・重慶市出身)  
しよくぎょう つうやく  
●職業:通訳  
にほんたいざいれき ねん  
●日本滞在歴:13年



はこね もり こや しぜん なか み おお じかん たいせつ りせつと  
箱根の森の小屋にて。自然の中に身を置く時間は、大切なリセットのひとつです。

ちゅうごく ご つかやくしゃ かつやくちゅう ちえん しん さくねん なつ うつ す うしまど く うかが  
中国語通訳者として活躍中の陳 欣さん。昨年の夏に移り住んだ牛窓での暮らしについて伺いました。

### — 牛窓の風に吹かれて、言葉を脱ぐ

わたし ちゅうごく じゅうけい し しゅうしん うみ まち そだ  
私は中国・重慶の出身です。海の無い街で育  
ちました。悠然と流れる揚子江のほとりが故郷  
です。幼い頃に触れた日本のアニメや音楽が、  
遠くにあった日本をいつの間にか身近な存在に  
変えていました。

にほん き ねん げんざい おかやまけん せ とうち し  
日本に来て13年。現在は岡山県瀬戸内市  
牛窓町に暮らしています。中国語通訳として、公  
的機関や企業の現場で言葉の意味、そしてその  
奥に潜む「意図」を読み取り、橋を架けるのが私  
の仕事です。

そんな言葉と向き合う日々の傍ら、もう一つ大  
切にしている時間があります。それは、瀬戸内の  
海と向き合う時間です。

昨年の夏の移住をきっかけに、夫の趣味であ  
るヨットを通じて、港の拠点「風車小屋」と出会いました。そ  
こで知り合ったのが、元国体代表セーラーの宇野さんです。  
宇野さんは現在、マリンアクティビティや地域の活性化に尽



ふるさと じゅうけい ようすこう なが わたし げんてん  
故郷・重慶。揚子江の流れは、私の原点です。

りよく わたし ゆうじん うみ まな もの じ かん  
力されており、私は友人として、また海を学ぶ者として、時間  
を見つけては風車小屋に通っています。船底を洗う作業や出  
航前の準備を手伝いながら、瀬戸内の海について教えても  
らっています。

こうした作業、多くの言葉は必要ありません。目の前の  
動きに集中し、自然の営みに呼吸を合わせるだけです。

通訳の現場では、私は常に手を動かし、メモを取り続け、  
言葉の奥にある意図を必死に探ります。常に言葉を追いか  
ける世界から、あえて言葉を脱ぎ捨てる海の世界へ。その往復  
が、私のバランスを整えてくれています。

潮の満ち引き、風の行方、海とともに生きる生き物たち。  
牛窓の海辺には、当たり前のように、実は奇跡のような  
豊かさが広がっています。圧倒的な自然の中に身を置くと、  
自分の小ささを思い知らされると同時に、この土地に根を  
張って生きることの心地よさを実感します。

言葉と向き合う時間と、言葉を手放す時間。その両方を抱  
えながら、牛窓の暮らしを重ねていく。それが、今の私です。

さんこう ふうしや ご や  
(参考「風車小屋」: <https://fushakoya.crayonsite.com/>)



ふうしや ご や せんていそうじ ことば かい  
風車小屋での船底掃除。言葉を介さず、  
手を動かすことで海と向き合います。



う の 宇野さんと愛犬さんとともに。  
出航前の穏やかな時間。

# ボランティア活動しています！

ITボランティア、協会サポーター

情報ボランティア、日本文化紹介

松井 沙織さん



作品を制作中

## アートのかで交流を

私は、日本語教師の資格を取得し、岡山県国際交流協会の日本語講座で日本語指導を始めたことをきっかけにボランティア活動も行うようになり、今年で12年目を迎えました。

思い出に残っているのは、2015年の「岡山を知ろう 交流バスツアー」です。牛窓を巡る旅にボランティアとして同行した際、

牛窓の伝統芸能「唐子踊り」の絵を描き、外国人の参加者の方々と大いに盛り上がりました。言葉を超えて心が通い合う、貴重な経験となりました。

私の特技は切り絵です。幼少時から続けており、現在では数々の賞をいただくまでになりました。言葉が異なっても、アートの力を通して外国人の方々と交流し、喜んで



らいたい。日本や西洋の伝統的な手法を組み合わせた切り絵にも挑戦していきたいです。そして、年齢や国籍に関係なくアートを楽しめるイベントを作り上げていきたいです。

## 「取経の旅」2023年制作

パリンアート世界大会2023 パークホテル東京賞 受賞

公募展のテーマが「旅-journey」だったので、『西遊記』の三蔵法師が悟空たちに出会う以前、取経（お経を取りに行く）を目指した頃を切り絵にしました。



## 「ローテンブルクヘドライブに行こう」2022年制作

アートパラ深川2022 清水建設賞 受賞

コロナ禍で自由にいろいろなところに行けないのが辛かったので、切り絵でドイツのローテンブルクに行ってきました。（ローテンブルクに、車は入れますか？）



## 「透鏡 Ver.2.0」2024年制作

アートパラ深川2024 ブッシュクロフィード賞 受賞

アートパラ深川2022の授賞式の帰りに見た東京駅がとても印象的であり、雨上がりの東京駅はとても幻想的だと聞いて。下半分はホログラムシートと油性マーカーで色を塗ったサランラップを貼り付けて、光の反射を表現しています。

## 令和8年度 岡山県国際交流協会 新規事業

### ●おかやま日本語教育支援センター

県内の日本語教育に関する情報の提供等を通じて、関係機関・団体等と連携し、日本語教育に携わる方を支援してまいります。

相談対応：月～金曜日の9:00～16:00

6月8日（月）10:00～開所式を行いました。

開所式についての詳細は、次号でご確認ください。

### ●岡山県外国人相談センター 相談日時拡充

令和8年7月から、日曜・夜間相談を毎月各1回開催します。

日曜相談：第2日曜日（13:00～16:00）

夜間相談：第4水曜日（17:00～19:00）

※面談のみの対応。

（電話での相談や日本語・英語以外での対応を希望する場合は、月～土曜日の9:00～17:00に対応。）



## 日本語教師の仕事

今回は私が、日本語教師の仕事が続けていきたいと思ったできごとについて書こうと思います。

数年前、岡山市にある親しみやすい雰囲気でも評判の中華料理店で、ある日ボヤが起きてしまいました。幸い大きな被害はなかったのですが、中国出身の店主は、近隣住民や常連客等に対し、心からのお詫びとともに、今後とも誠実に商売をしていく決意を日本語で書き、店の壁に貼りました。するとその貼り紙には、店主への励ましの言葉や、営業してくれていることへの感謝のメッセージが、常連客等によって日本語で書き込まれました。

このできごとから、店主の誠実な人柄に応えるかのような常連客のあたたかい気持ちを感じるとともに、地域において「日本語でやりとりできること」の大切さを実感しました。そして、これからもこういう街で生きていきたい、多様な背景を持つ人たちも安心して過ごせるような岡山であるために日本語教育に貢献したいと改めて思いました。

(岡山県地域日本語教育総括コーディネーター 秋田 節子)



## 信頼で世界をつなぐ 海外ボランティア



## JICA 寄稿

### ～JICA海外協力隊～

「国際協力」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか。特別な人が、遠い国で行くもの。そんな印象をお持ちの方もいるかもしれません。JICA海外協力隊は、日本政府が進める国際協力の一つとして、開発途上国と呼ばれる国々に派遣され、現地の人々と生活を共にしながら現地の人々と課題解決に取り組めます。ところで、国際協力やJICA海外協力隊にはどのような意味があるのでしょうか。

私がJICA海外協力隊として派遣されていた2011年3月、東日本大震災が発生しました。遠く離れたアフリカの農村部でも日本の状況は毎日報道され、現地の方々から「募金したい」「一緒にいるから大丈夫」と声をかけていただきました。言葉も文化も違う中で交わされたその気持ちに、胸がいっぱいになったことを今でも鮮明に覚えています。この温かさに、どう応えていけばいいのだろう。そう考えた経験が、今の私につながっています。

日本は戦後、国際社会から多くの支援を受けてこまできました。世界では現在も、ウクライナや中東をはじめ、メディアではあまり報道されない国々・地域で多くの課題が続いています。それは決して遠い国の出来事ではなく、日本の暮らしとも深く結びついていると感じている方も多いのではないのでしょうか。

JICA海外協力隊の活動は、現地に足を運び、人々と汗を流し、日々の生活の中で信頼関係を築く、まさに「信頼で世界をつなぐ」取り組みです。

応募から派遣までは1年以上かかることもあります。2年間の活動を終えて帰国した隊員の皆さんは、ひと回りもふた回りも成長した姿を見せてくれます。「自分の経験は、世界のどこかで役に立つのだろうか」。そう感じたことのある方は、ぜひ一度、JICA海外協力隊の説明会や個別相談に足を運んでみませんか？

2026年秋募集 9月2日(水)～10月2日(金)

説明会情報も決定次第岡山県JICAデスクFacebookやJICA中国のホームページでお知らせします！

(JICA岡山県国際協力推進員)



個別相談を受付けています。

今春派遣された新隊員の方々。岡山県庁で、満開の桜が隊員たちの門出に花を添えました！



## ～英会話カフェEnglish Cafe～

英語のネイティブスピーカーと参加者が楽しくおしゃべりするイベントです。英語に興味があり、英語で話したい方や国際交流を体験してみたい方、ご参加ください!!

- と き 毎月1回 土曜日、15:00～16:00
- 対 象 英語に興味を持っている、英語で話してみたい中学生以上の岡山県民の方(外国人含む)
- 参加費 無料
- 定 員 16名(要申込み・先着順)
- ※ただし、初回申込みの方を優先します
- 申込み 企画情報課

## 英語で話そう ～Let's Speak English～

様々な国の人と英語で楽しく交流しましょう!

- と き 令和8年9月12日(土)
- 対 象 英語に興味を持っている、日常英語が話せる中学生以上の岡山県民の方(外国人含む)
- 参加費 500円(協会会員、高校生以下、外国人は無料)
- 定 員 40名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(8月中旬受付開始予定)

## 日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内の日本語学習支援者の技術向上のための研修会を開催します。

- と き 令和8年9月26日(土)
- 開催方法 オンライン(Zoom)
- 対 象 県内で日本語学習支援に携わっている、または興味のある方
- 参加費 無料
- 定 員 50名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(8月受付開始予定)

## おかやまSDG'sフェア2026出展

「おかやまSDG'sフェア2026」に出展します。ぜひ遊びに来てください!

- と き 令和8年8月5日(水)～8月6日(木)
- 場 所 岡山コンベンションセンター
- 入場料 無料

## 親子で遊ぼう-Family Friendly Event-

ゲームやダンスで楽しく遊ぼう。運動量のあるゲームをするため、親子ともに動きやすい服装で参加してください。

- と き 令和8年8月23日(日)
- 対 象 4歳～8歳の子供とその保護者(県内在住の外国人及び日本人)
- 参加費 無料
- 定 員 40名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(7月中旬受付開始予定)

## 子ども日本語学習サポーター研修会

外国にルーツを持つ小中学生への日本語学習支援に必要な知識と技術を学びます。研修修了者は本協会の「子ども日本語学習サポーター」に登録できます。

- と き 令和8年8月30日(日)
- 対 象 子ども日本語学習サポーター登録者及び新規登録希望者など
- 参加費 無料
- 定 員 80名(要申込み、先着順)
- 申込み 企画情報課(7月下旬受付開始予定)

## 会報誌アンケートのお願い

今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

『特別展「サーカス! ～ようこそ夢の世界へ～」』  
(県立美術館開催) ペアチケットを5名様にプレゼント!

令和8年7月6日(月)までにアンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で開催される標記展覧会(会期:令和8年8月1日(土)～9月23日(水・祝))のペアチケットをお送りします。発表は発送をもって代えさせていただきます。

アンケートフォーム▶



## 特別展「サーカス! ～ようこそ夢の世界へ～」

●会期 8月1日(土)～9月23日(水・祝)

18世紀に始まったとされる近代サーカスは、19世紀以降多くの芸術家の創作欲を掻き立ててきました。本展では、シャガールやルオーといった20世紀ヨーロッパの絵画から、幕末に活躍した曲芸団の様子を記録する浮世絵、岡山出身画家・国吉康雄や竹久夢二の作品まで、「サーカス」と「道化師」を題材とする作品を一挙に展覧し、その多様な魅力に迫ります。切り絵作家・酒井敦美が本展のために制作する体験型作品「光の切り絵」や、岡山発祥のサーカス・木下サーカスの所蔵資料も特別出品予定です。



マリー・ローランサン《サーカスにて》1913年頃 名古屋美術館蔵

## 会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

### ☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

### ☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円  
賛助会員: 30,000円

### ☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30(月～土曜日)  
E-mail: kokusai@opief.or.jp



最新情報は、当協会のホームページやFacebook、X(旧Twitter)等で随時お知らせします。



## 一般財団法人 岡山県国際交流協会 企画情報課

☎086-256-2914 (月～土 9:00～17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月～土 9:00～17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905(9:00～17:30)

[休館日] 12月29日～1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

### 編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1  
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会  
☎086-256-2000(月～土 9:00～17:30)  
☎086-256-2226

ホームページ: <https://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

X(旧Twitter): [https://twitter.com/opief\\_okayama](https://twitter.com/opief_okayama)

Instagram: [https://www.instagram.com/opief\\_okayama/](https://www.instagram.com/opief_okayama/)

E-mail: kokusai@opief.or.jp